

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2021年9・10月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第622号

昔、四国にある大学で経済学を学んでいた時に、ウィリアム・モリスについての講義がありました。マルクス主義者・社会活動家としてのウィリアム・モリスの思想という側面の強い講義であった気がします。高校を卒業したばかりのわたしにはむづかしすぎたのでしようか、そのときウィリアム・モリスに「出会う」ことはありませんでした。数年後、「壁紙とかインテリアのデザインがすてきな展覧会があるからに行こう」と友人に誘われて行きました。とてもすてきな展覧会でした。そのデザイナーの名前は、ウィリアム・モリスでした。これが大学の講義で聞いたウィリアム・モリスだったのかと驚きました。その後、ウィリアム・モリスの展覧会はなんども行き、ウィリアム・モリスのデザインのコーヒークップで毎日コーヒーを飲んでいました。

文化とか芸術というのは、大切なものだと思います。同志社大学神学部の教授であった竹中正夫先生は、教え子から「先生、早く、キリスト教倫理の本を書いてくださいよ」と言われた時に、「文化

が倫理なんだよ」と応えられたそうです。「この本を読んだら倫理がわかります」ということではなく、実際にアジアの国の文化を伝えていくということが竹中先生にとつての倫理であったのでしよう。わたしはこの言葉が好きで、アジアの国々を訪ねる機会があったとき、戦争についての記念館などを訪問しますが、

「これ、たのしい」「やっぱ、すげえすね」を忘れずに



関西セミナーハウス活動センター運営委員

小笠原 純

そのほかに美術館や博物館などを訪ねるようにしています。その国の文化を知ることによって、その国の人々のことを尊敬することができるようになります。

日本クリスチャン・アカデミーの財団機関誌の名前は「はなしあい」です。アカデミー運動は『対話を通じて』、自ら人間らしい社会の実現の

可能性を探る場を提供しようとしてきました」ということです。だから、「はなしあい」は大切なことだと思います。ただなかなか「はなしあい」では解決がつかず、対立が深まるだけであるというようなこともあります。

しかし文化的な出会いが、より良い関係を生み出している

くことがあります。韓流ドラマやK-POPは悪化する日韓関係の歯止めとなり、日本のアニメーションのおかげで世界から日本は好印象を得ています。私たちが中国の故事成語から教えられることは多いですし、漢字を使って文章を書いています。

「自分の納めた税金が、他の人のために使われるのはがまんがならない」というような雰囲気があるとなく漂っている日本社会にあつて、そんな

なさみしい社会ではなくもつとみんなが幸せになれる社会をつくつていこうという招きを作り出していきたいと思います。

そのためには、万人が楽しめるような「出会い」というのも大切なのではないかと思っています。知的な学習にだけ偏ることなく「これ、たのしい」「やっぱ、すげえすね」というようなこともできれば良いと思います。それが「人間らしい社会の可能性を探る場を提供してきた」アカデミーの大切な働きの一つではないかと思っています。

わたしが同志社大学神学部で学んでいるときに、「アジア国際キリスト教美術展」が大丸・四条烏丸店7階特設会場で開かれています。主催はアジア国際キリスト教美術展組織委員会、代表世話人は同志社大学神学部の竹中正夫教授です。(財)日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス20周年事業実行委員会が共催しています。美術展に行つて、図録を買うことなどないのですが、このときだけ買つていて、いまでも大切に持っています。

(日本基督教団平安教会牧師)

関東活動センター

●2021年度 聖書を読む講座II(共催:早稲田奉仕園) <新しい聖書の学び>

「マルコ福音書をジツクリと読む」(第4期)

講師 聖書学者 山口 里子さん

2021年4月〜2022年2月(全10回) Zoomによるオンライン講座



山口里子さん

「マルコ福音書をジツクリと読む」(第4期)は、山口里子さんを講師に、第三期に引き続き完全にZoom開催としている。受講者は今期も約七〇名であるが、今回は海外からの参加者に感想を寄せていただいた。

◆小出久美(オランダ在住)

里子さんの講座を受講するようになって二年目になりました。私はオランダに住んでいますが、普通の講座に連続して参加することはできません。以前は里帰りのたびに、

受講の機会を探して、単発でのお話を聞いていました。昨年来のCOVID-19によるパンデミックによって、毎月里子さんの講義を聴けることになりました。不幸中の幸いです。日蘭では時間帯が違うので、仕事(産後の訪問看護)と重なることもあり、毎回出席できないうえ、その時には動画を利用しますが、里子さんのお話は内容が濃いので、一回で理解できないこともあり、動画はとて役に立っています。これからも継続して受講して、イエスの精神を私の細胞一つ一つにしみこませたいと思っています。

◆劉(らお)瑞枝(シンガポール在住)

講師の山口里子さんが執筆されたものを読んで以来、新たな視点で聖書を学ぶという

姿勢に深く共感し興味を持っていました。昨年よりズームでの講座に参加、じっくり読むとタイトルにあるとおり、聖句の一句ごとの意味や時代背景、イエスが何を語ったか、語ろうとしたのか等々、探りつつ学ばせていただいています。聖書を「神の言葉」としてどちらかといえば通り一遍

関西セミナーハウス活動センター

●2021年度 修学院フォーラム「いのち」第1回 「音楽(ハープ)による看取りのケア」

アメリカ福音ルテル教会宣教師 キャロル・サックさん

2021年4月10日(土) 関西セミナーハウスおよびオンライン



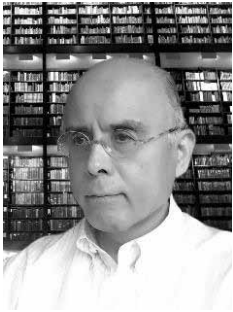
キャロル宣教師は、最初にスライドを交えて、中世修道院の歴史的働きの中に、現在の病院やホスピスの原型と

に読みとりイエスを受け入れてきた私でしたが、新しい聖書学、神学の一端に触れさせていただき、皆さんの疑問や自由な意見交換から、考えさせられ、刺激を受けています。私を生かす神様を一層知りたいと願いつつ、学びを続けていきたいと思っています。

紹介された。この講座から終末期患者のベッドサイドでハープと歌声を用いて祈りを捧げる「パストラルハープ奉仕者」が育成され、現在も全国の病院、ホスピス、ホームレス等の施設で奉仕を続けている。奉仕者が留意すべきこととして、病室に入室後、挨拶をして自己紹介すること、患者の呼吸を注意深く観察すること、患者の呼吸に集中し、呼吸に合わせて静かな音を奏でること、患者が音楽の指揮者であることを忘れないこと等が指摘された。

なる、役割や機能があったことを指摘された。また、音楽死生学の聖書的な背景となる旧約聖書の「詩編」について触れ、「豎琴」(ハープ)は「祈りの道具」として用いられており、「詩編」全体が祈りの詩であることを解説された。さらにスライドによって、ご自身が主管し、2006年から12年間継続されたリラ・プレカリア(祈りの豎琴)と呼ばれる研修養成講座の様子が

スライドでの講義終了後、死に逝く人、困難な状況にある人に寄り添うハープの演奏と歌による実践を参加者が「患者」になることを想定して、共に疑似体験をした。オンラインでの演奏にも関わらず、その柔らかい音色と、美しい歌声に「癒し」と「希望」を経験する時間となった。演奏後、通常キャロル宣教師が用いる三つの曲のジャンルについて解説がなされた。第一は子守歌、第二はテゼ共同体の歌、第三はグレゴリオ聖歌であった。いずれも患者にとって馴染みのない曲を、馴



森本講師は最初に、アメリカに新政権が誕生したが、その正統性は依然として危機に直面していることを指摘した。米国内における格差の増大による分断、理解しがたい陰謀論が蔓延している背景と原因は何か。現在もトランプ前大統領が強く支持されているのは何故か。民主党と共和党の政治的対立のみに起因す

るのではない。むしろ米国史に固有のリベラリズムが生み出した帰結ではないかと、仮説を提示した。次に、神学者ラインホルド・ニーバーの「われわれの成功こそが、成功の限界を暴露した」という指摘を「契約神学のアメリカ化」がこの危機の歴史的背景の一つであることと解説した。米国で、申命記30章の「神に従う者に恵みが与えられる」という契約を「豊かで繁栄している者は神の恵みをより受けている」とする逆回転の解釈が成立し、繁栄と徳とされ、物質的な富と成功の福音がキリスト

●2021年度 修学院フォーラム「社会」第2回
 「分断と陰謀論のアメリカ」
 —ポスト・トランプの時代に—
 会場：関西セミナーハウスおよびオンライン
 国際基督教大学教授 森本あんりさん
 2021年5月22日(土)

●2021年度 修学院フォーラム「社会」第2回
 「分断と陰謀論のアメリカ」
 —ポスト・トランプの時代に—

染みのない言葉で演奏することが重要であると説明された。音楽療法が回復を目指すのに対して、音楽死生学は回復することが不可能であることを前提としている。心の深いところには「誰も神に愛されている存在であることに気付く」ところに内在する平安、希望、愛を呼び覚ます音楽と云える。最後にキャロル宣教師は、パストラルハープの実践の目的は「誰もが神に愛されている存在であることに気付く」と結んだ。



講師の山下壮起さんはマー

●2021年度 修学院フォーラム「いのち」第2回
 「ヒップホップに宿るアナムネーシスの力」
 日本キリスト教団 阿倍野教会牧師 山下 壮起さん
 会場：関西セミナーハウスおよびオンライン
 2021年6月12日(土)

●2021年度 修学院フォーラム「いのち」第2回
 「ヒップホップに宿るアナムネーシスの力」

教の米国化を促進した。講師は更に、米国の政治学者、パトリック・デニーンが主張する「リベラリズムは、成功したからこそ失敗した」とする言説を取り上げ、自由な個人の選択に基づく個人主義と国家主義の矛盾とギャップについて解説した。主権は国民にあるとする民主主義の大義と国民が政治を掌握できないという現実との矛盾が、特にグローバル化の進展により露呈し顕在化した。個人の無力感がグローバルエリートへの反感をもたらし、トランプ支持

チン・ルーサー・キング牧師の母校であるジョージア州アトランタのモアハウス・カレッジでアフリカン・アメリカン研究を専攻された。著書の『ヒップホップ・レザレクション』(新教出版社)は、神学関係の本では見たことのないおしゃれな装丁である。

「頭の固いあんたなんか読んでもわかるはずがない」という挑発的な装丁に圧倒された。ブラック・ライブズ・マターの運動においても、ヒップホップは用いられた。ギャングスタ・ラップは暴力的な日常について語られるラップ・ミュージックである。そのために黒人教会もギャングスタ・ラップに対して良い印象をもたなかった。しかしギャングスタ・ラップには、イエス、天国など聖書が示す宗教性も盛り込まれていて、救いを求める叫びの中に、新しい霊性の発露がある。聖餐がイエスの復活をアナムネーシス(想起)するものであるように、ラッパーたちは差別的な社会構造や国家的暴力の犠牲になった者たちの名前をあげてアナムネーシスする。

山下壮起さんは熱っぽく語られた。と言いたいところだが、挑発的な装丁とはうらはらに、意外に淡々と語られた。想定外だった。そして最後に言われた。「とにかくギャングスタ・ラップ聴いてください」。そりゃ。そうだ。

プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**2021年度 聖書を読む講座 I**

(共催：早稲田奉仕園)

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もうーこの時代の中で聖書からメッセージを読み解く」『創世記(原初史)から読み解く現代第3期～神、自然、人間をキーワードに』

講師：上林 順一郎さん(日本キリスト教団引退教師)

日時：5月～11月、第4水曜 14:00～16:00(8月休会)

参加費：全6回6,000円(学生3,000円)

方法：会場(早稲田奉仕園セミナーハウス)およびZoomによるオンライン講座

■**2021年度 聖書を読む講座 II**

(共催：早稲田奉仕園)

「マルコ福音書をジックリと読む」第4期

講師：山口 里子さん(聖書学者)

日時：4月～2022年2月、第2火曜

18:30～20:00

参加費：全10回8,000円(学生4,000円)

方法：Zoomによるオンライン講座

■**2021年度話し方ワークショップ**

「礼拝の言葉を豊かに」(ステップアップ講座) [今年度開催中止]

本講座は、発声を中心とする内容のため、新型コロナウイルス感染症の状況に考慮し、今年度の開催を中止します。

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリスト教・アカデミー

代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

◆**東・西活動センター・早稲田奉仕園共催**

■**2021年度関東フォーラム 宗教対話 I / 修学院フォーラム「社会」 I**

〈連続講座〉アンコール開講

「日本キリスト教史を読む」 I (明治篇)

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

日時：5月～12月、第2木曜 14:00～16:00

参加費：全8回6,000円(学生4,000円)

方法：Zoomによるオンライン講座

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2021年度開発教育セミナー**

第4回「私たちは気候変動を食い止めることができるのか？」

[オンライン開催に変更]

講師：伊与田 昌慶さん(特定非営利活動法人気候ネット

ワーク主任研究員)

日時：10月10日(日)10:00～16:00

参加費：3,000円

方法：Zoomによるオンライン開催
第5回「持続可能な食と農をめざして～食料主権をとりもどす」

講師：西川 芳昭さん(龍谷大学経済学部教授)

日時：11月14日(日)10:00～16:00

参加費：3,000円

会場：京都市地域多文化交流ネットワークサロン(予定)

第6回「誰のための平和か～中東で起きていることを理解する」

講師：末近 浩太さん(龍谷大学経済学部教授)

日時：12月12日(日)10:00～16:00

参加費：3,000円

会場：京都市国際交流会館(kokoka)

【修学院フォーラム YouTube ラインナップ】

オンライン開催分について、一部を除き、YouTubeで(限定公開)しています。

◎2020年度「社会」◎「エネルギーを考える」◎「原子力に頼らない未来の創り方」

◎2020年度「いのち」◎「ゲノム編集の光と影」【申込締切：12月20日】

◎2021年度「いのち」◎「音楽(ハーブ)による看取りのケア」

◎2021年度「いのち」◎「ヒップホップに宿るアナムネーシスの力」

◎2021年度「社会」◎「シュリンクするまち・リボンするまち」【近日受付開始】

◎2021年度「福祉」◎「気候変動とキリスト教～人新世と宗教～」【近日受付開始】

詳細、申込は、「関西セミナーハウス活動センター」ウェブサイトより。

賛助会費・寄付金報告

2021年7月1日～8月31日

(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

賛助会費

木村護郎クリストフ 5,000

◆**関東活動センター**

寄付金

許 昌範 30,000

◆**神学生プログラム寄付金**

早稲田教会 10,000

神田 健次 5,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

神田 健次 5,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

斉藤 洋子 5,000

匿名 5,000

水戸 潔 5,000

島田 宗洋 5,000

松本 嘉一 5,000

宮本 桂子 5,000

福留 順子 5,000

新宗連大阪事務所 梶山 貴史 5,000

南 和子 10,000

黒田 睦子 3,000

大津 恵子 3,000

都木 かおり 3,000

◆**寄付金**

柳井 繁彌 5,000

匿名 10,000

水戸 潔 5,000

田中 義信 3,000

山添 みどり 3,000

宮本 桂子 5,000

桃山アシュラム 30,000

高田 清太郎 20,000

荒井 加代子 100,000

◆**開発教育指定寄付金**

丸山 まり子 3,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。